

令和4年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会

第63回全国高等学校ヨット選手権大会

# 帆走指示書

主 催 (公財)全国高等学校体育連盟 (公財)日本セーリング連盟  
和歌山県 和歌山県教育委員会 和歌山市 和歌山市教育委員会

共 催 読売新聞社

後 援 スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 NHK  
(公社)和歌山県体育協会 和歌山市体育協会

主 管 (公財)全国高等学校体育連盟ヨット専門部  
和歌山県高等学校体育連盟 和歌山県セーリング連盟

特別協賛 大塚製薬

協 賛 JTB マイナビ KDDI カンコー学生服

会 場 和歌山セーリングセンター

略語 [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板（WEB版を使用、以下同様。）に掲示される。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは規則 63.1 および付則 A 5 を変更している。

[NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。

## 1 規則

『2021-2024 セーリング競技規則』（以下「規則」という）に定義された規則を適用する。

## 2 帆走指示書の変更

帆走指示書（以下「指示」という。）の変更は、それが発効する当日の 9 : 00 までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 18 : 00 までに掲示する。

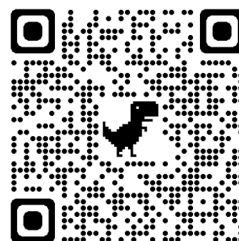
## 3 コミュニケーション（公式掲示）

3.1 競技者への通告は、WEB 及び LINE オープンチャットで行う。

右の QR コードをスキャンすることで招待が受けられる。

【WEB】（[RacingRulesOfSailing.org](https://www.racingrulesofsailing.org)）

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/4157/event>



【LINE オープンチャット】

[https://line.me/ti/g2/iXXPHcQADBk7-](https://line.me/ti/g2/iXXPHcQADBk7-kNBiXBuhG7ExAHFFTcAkx74vA?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default)

[kNBiXBuhG7ExAHFFTcAkx74vA?utm\\_source=invitation&utm\\_medium=link\\_copy&utm\\_campaign=default](https://line.me/ti/g2/iXXPHcQADBk7-kNBiXBuhG7ExAHFFTcAkx74vA?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default)



オープンチャットでの質問・照会・問い合わせは受け付けない。

3.2 [DP][NP]このオープンチャットには私的な書き込みをしてはならない。

## 4 行動規範

4.1 [DP]競技者および支援者は、主催団体およびレース委員会等からの合理的な要求に応じなければならない。

4.2 [NP]競技者および支援者は、主催団体によって提供された、装備の取扱いを、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

4.1 [DP] 競技者および支援者は、主催団体によって示された、[感染症拡大防止の措置]、[その他安全に関する指示]に従い、実行しなければならない。

## 5 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発せられる信号は、クラブハウス北側 2 階テラスに設置された信号柱に掲揚される。

5.2 [DP] [NP]音響信号と共に掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗の掲揚後 30 分以降に発せられる。艇

は、この信号が発せられるまで、指定されたバースから離れてはならない」ことを意味する。

- 5.3 指示 6.1 に示した個別の種目（以下「クラス」という。）及び指示 6.7 で示したクラスのレースに対して、AP 旗を掲揚しない。予告信号予定時刻の 30 分前までに D 旗を掲揚しない場合、そのレースのスタートは、時間に定めなく延期している。

## 6 レース日程

### 6.1 レース日程

日程	時刻	
8月12日(金)	13:25	男子 420 級 トライアル・レースの予告信号
	13:35	女子 420 級 トライアル・レースの予告信号
	14:25	男子レーザーラジアル級 トライアル・レースの予告信号
	14:35	女子レーザーラジアル級 トライアル・レースの予告信号
8月13日(土)	9:55	男子 420 級 第1レースの予告信号
	10:05	女子 420 級 第1レースの予告信号
	10:55	男子レーザーラジアル級 第1レースの予告信号
	11:05	女子レーザーラジアル級 第1レースの予告信号
8月14日(日)	9:55	その日の最初のクラスの予告信号
8月15日(月)	9:55	その日の最初のクラスの予告信号
8月16日(火)	9:25	その日の最初のクラスの予告信号

- 6.2 レース数は、各クラス 7 レースとする。1 日各クラス 2 レース(8月 16 日(火)は各クラス 1 レース)を予定する。
- 6.3 1 日の最大レース数は、各クラス 3 レースとする。
- 6.4 天候その他レース日程等の理由により、次の日のレースを前倒しして行う場合がある。
- 6.5 レース日の毎朝 8 : 45 から、場内アナウンスを用いて、レース委員会・テクニカル委員会・プロテスト委員会・監督・選手によるブリーフィングを行う。
- 6.6 1 つのレース又は一連のレースが、間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 6.7 各クラスのレース終了後、その日の次のレースのスタート予告信号予定時刻を WEB（公式掲示）に掲示される。
- 6.8 8月 16 日(火)は、12 : 00 より後に予告信号を発しない。

## 7 クラス旗

クラス旗は次のとおりとする。

クラス	旗の色と形象
男子 420 級	白地に青の 420 クラスマーク
女子 420 級	青地に白の 420 クラスマーク
男子 レーザーラジアル級	黄地に赤のレーザークラスマーク
女子 レーザーラジアル級	黄緑地に赤のレーザークラスマーク

## 8 レース・エリア

「添付図 1」 にレース・エリアの位置を示す。

## 9 コース

9.1 「添付図 2」の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇船尾に、帆走すべきコース、最初のレグのおおよそのコンパス方位を示す掲示板を掲示する。

## 10 マーク

10.1 マーク 1、2、3 s、3 p、4 s 及び 4 p は青色の円筒形ブイとする。

10.2 指示 12 に規定される新しいマークは赤色の円筒形ブイとする。

10.3 スタート・マークはスターボードの端にあるレース委員会の信号艇とポートの端にあるレース委員会艇とする。

10.4 フィニッシュ・マークはスターボードとポートの端にあるレース委員会艇とする。

## 11 スタート

11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。

11.2 [DP] [NP] 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、「添付図 3」に示す待機エリアラインを越えてスタート・ラインに近づいてはならない。

11.3 スタート信号後、4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』(DNS)と記録される。これは規則 A 5 を変更している。

11.4 ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるため、レース委員会の信号艇以外のレース委員会艇にも「第 1 代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、レース委員会の信号艇以外の当該レース委員会艇が行う「第 1 代表旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降下の 1 分後に発する」の意味を持たないものとし、また音響の有無も無視されるものとする。この項は、規則レース信号および規則 29.2 を変更している。

## 12 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し（又はフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できればすぐに元のマークを除去する。

## 13 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上に青色旗を掲揚しているポールの間とする。

## 14 ペナルティー方式

14.1 付則 P を適用する。

14.2 付則 T を適用する。「レース後ペナルティー」を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは、規則 A 10 を変更している。

14.3 レース委員会又はテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、WEB（公式掲示）に掲示される。標準ペナルティーを

課された艇の得点略語は「STP」である。これは規則 A10 を変更している。

## 15 ターゲット・タイムとタイム・リミット

15.1 各クラスのそれぞれのターゲット・タイムは、次のとおりとする。

クラス	マーク 1 の タイム・リミット	ターゲット・タイム	フィニッシュ・ ウィンドウ
男子 420 級、女子 420 級	20 分	45 分	15 分
男子レーザーラジアル級、 女子レーザーラジアル級	20 分	45 分	15 分

15.2 マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しそうな場合、レース委員会はそのレースを中止することができる。これは規則 32.1 を変更している。

15.3 ターゲット・タイムどおりにならなくても救済の根拠とならない。これは規則 62.1(a) を変更している。

15.4 規則 30.3、30.4 に違反しないでスタートした最初の艇がコースを帆走してフィニッシュウィンドウ以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』(DNF)と記録される。この項は規則 35、A 5 を変更している。

## 16 審問要求

16.1 抗議及び救済又は審問再開の要求は、適切な締切時間内に WEB フォームにて提出されなければならない。ただし、WEB フォームにて提出することが困難な場合には、プロテスト委員会事務局に持参して提出することができる。審問要求の様式は、プロテスト委員会事務局で入手できる。

16.2 抗議締切時刻はその日の当該クラスの最終レース後、又はレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。

16.3 審問の当事者であるか、又は証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告が WEB (公式掲示) に掲示される。審問は、WEB (公式掲示) に掲示した時刻に始められる。

16.4 指示 14 に基づき規則 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、WEB (公式掲示) の海上ペナルティーに掲示される。

16.5 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 30 分以内に提出されなければならない。これは規則 62.2 を変更している。

16.7 審問の当事者は、翌日の抗議締切時刻までに、WEB フォームにて審問の再開を要求することができる。ただし、WEB フォームにて提出することが困難な場合には、プロテスト委員会事務局に持参して提出することができる。ただし、レースを行う最終日では、要求は次の時間内に提出されなければならない。

(1) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時刻。

(2) 要求する当事者が当日に判決を通告された後、30 分以内。

これは規則 66.2 を変更している。

16.8 規則 50、各クラス規則、実施要項 13(4)、18(4)、18(11)の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。

## 17 得点

17.1 シリーズが成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。

- 17.2 5レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 17.3 参加艇数とは、本大会に参加が認められた艇の数とする。

## 18 [NP]安全規定

- 18.1 [DP]競技者は衣類又は個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、水上にいる間は個人用浮揚用具(ライフ・ジャケット)を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。個人用浮揚用具は、ISO 12402 - 5、レベル 50 又は同等の基準に従うとともに、体重にあったサイズを着用しなければならない。
- 18.2 [SP]出艇しようとする競技者は、「レース申告受付所」で出艇申告として「航跡記録装置」を、その日の最初のレースのD旗掲揚 10 分後までに受け取らなければならない。出艇申告および帰着申告は「航跡記録装置」の受取・返却により自動的に行う。なお、「航跡記録装置」は、その日のレース終了後(引き続きレースが行われた場合は、そのレース終了後) 60 分後、又は海上にてA旗が掲揚された場合は、掲揚後 60 分後のどちらか遅い方までに返却しなければならない。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。
- 18.3 [SP]レースからリタイアした艇の艇長(レース委員会が正当な理由があると認めた場合は、その代理人)は、指示 18.2 の帰着申告を行わなければならない。なお、レースからリタイアした艇は、コースを離れる前に、可能であれば運営艇にリタイアの意思を伝えなければならない。
- 18.4 艇が救助を要請する場合には、救助する船に対して片手を高く上げて合図を送ることとする。ただし、レース委員会又はプロテスト委員会は、危険な状態にあると判断したレース艇に対して、リタイアを勧告する。また、緊急救助を要すると判断した場合には、競技者の意思に拘わらず強制的に救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。
- 18.5 艇は、自らの安全のためにマスト・トップに浮力体を取り付けることができる。形状は球形に限り、1 か所のロープで取り付けなければならない。ただし、コンディションにより付けたり外したりしてもよい。
- 420 級については、規則 87 および 420 クラス規則 A.8.2 に基づき、420 クラス規則 C.5.1a に追加するものとする。
- 18.6 曳航ロープについて
- (a)420 級については、420 クラス規則のとおりとする。
- (b)レーザーラジアル級については、直径 6 mm 以上、長さ 5 m 以上の水に浮く曳航ロープをパウアイに結びつけておかななければならない。
- (c) 曳航ロープは、420 級及びレーザーラジアル級ともに、各学校において準備しなければならない。

## 19 [NP]乗員の交代(男子 420 級及び女子 420 級のみ適用)と装備の交換

- 19.1 [SP]乗員届は、男子 420 級及び女子 420 級において、次のとおりレース申告受付所に提出しなければならない。
- (a)8月12日(トライアル・レースの日)の11:55~12:25
- (b)8月13日(最初のレースの日)の8:15~8:45
- ただし、その後乗員の変更を行う場合には、その都度新たな乗員届を出艇までにレース申告受付所に提出しなければならない。
- 19.2 [DP]海上で引き続き行われるレースでの乗員の変更を希望するチームは、乗員届をレース申告受付所に提出したうえ、交代要員を定められた時刻までに指定場所へ待機させねばならない。この時刻は先頭艇

フィニッシュ後、レース委員会により WEB（公式掲示）に掲示される。交代要員の移送はレース委員会艇が行う。

- 19.3 [DP]損傷又は紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、書面によりテクニカル委員会に行わなければならない。

## 20 [DP]装備と計測のチェック

艇又は装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

## 21 運営艇

運営艇の標識は、次のとおりとする。

運営艇	識別旗
競技委員会	白地に赤字「VIP」
レース委員会	白地に赤字「RC」
プロテスト委員会	赤地に白字「PROTEST」
救助艇	緑地に白字「RESCUE」
報道艇	白地に緑文字「MEDIA」
テクニカル委員会	白地に赤字「MEASUREMENT」

## 22 支援艇

- 22.1 大会期間中（8月12日(金)～16日(火)）に支援艇を使用する場合は、8月10日(水)10:00～17:00又は8月11日(木)10:00～17:00に、クラブハウス2階事務所のレース委員会事務局に申請し、ピンクフラッグを受けとらなければならない。

なお、大会期間中（8月12日(金)～16日(火)）の支援艇の運用については、下記のとおりとする。

- ・乗艇員はレース委員会で指名した者を乗せることがある。
- ・生徒の乗艇は禁止する。
- ・選手への給水は可とする。
- ・衣類や物品等の受け渡しをしてはならない。休息や指導等のために選手を支援艇に乗り移らしてはならない。また、支援艇は、艇の調整や修理を行ってはならない。

- 22.2 支援艇が出艇する際は、レース申告受付所に用意された申告書に署名しなければならない。指示5に規定する「D旗」が掲揚されていない場合、支援艇もこれに従うものとする。出艇申告は、その日最初の「D旗」掲揚10分後までに署名し、帰着申告は、その日最後のレース終了後60分後、又は海上にてH旗又はA旗が掲揚された場合は、掲揚後60分後のどちらか遅い方までに署名しなければならない。

- 22.3 支援艇は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするか若しくはリタイアするか、又はレース委員会が延期、ゼネラル・リコール若しくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアから100m以上外側にいなければならない。

- 22.4 支援艇は、レース委員会が準備するピンク色旗の標識を海上にいる間、明確に掲揚しなければならない。

- 22.5 レース委員会は荒天等の理由により、支援艇に対し救助の要請を行う場合がある。それぞれのレース委員会艇がピンク色の旗を掲揚した場合は、それぞれのレース委員会艇から指示を受け、それに従わなくてはならない。レース委員会はこの指示を知らせる為、マリンVHF（72チャンネルを使用）の搭載を

推奨する。

22.6 支援艇に乗艇する全ての要員は、競技艇の帆走に影響する行動（引き波を立てることを含む）を取ってはならない

## 23 ごみの処分

ごみは、支援艇又は大会運営艇に渡してもよい。

## 24 [DP]無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。また、この制限は携帯電話にも適用される。ただし指示 18.2 の機器は含まない。

## 25 賞

賞は実施要項の通りとする。

## 26 [DP][NP]学校名シール及び識別マーク

26.1 艇は割当てられた学校名シールをセールに貼付しなければならない。女子レーザーラジアル級及び女子 420 級は、それぞれのクラスルールに従い、赤色で菱形の識別マークを両面の同じ位置に表示しなければならない。学校名シールは、受付時に配布する。貼付箇所は「添付図 4」に示す。

26.2 艇は規則でセールに表示することが求められているもの、あるいは認められているもの以外は表示してはならない。なお、全国高体連「競技者・指導者規程」を準用し、企業広告・個人広告・校章その他のマークや記章の表示をしてはならない。

## 27 リスク・ステートメント

規則 3 には『レースに参加するか、又はレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。



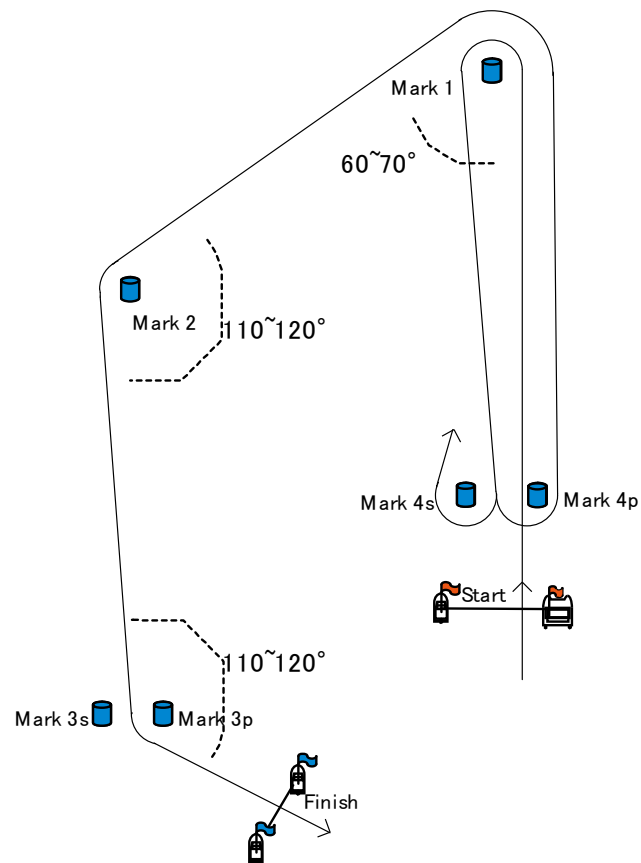
添付図 1 ハーバー及びレース・エリア



添付図 2 レース・コース

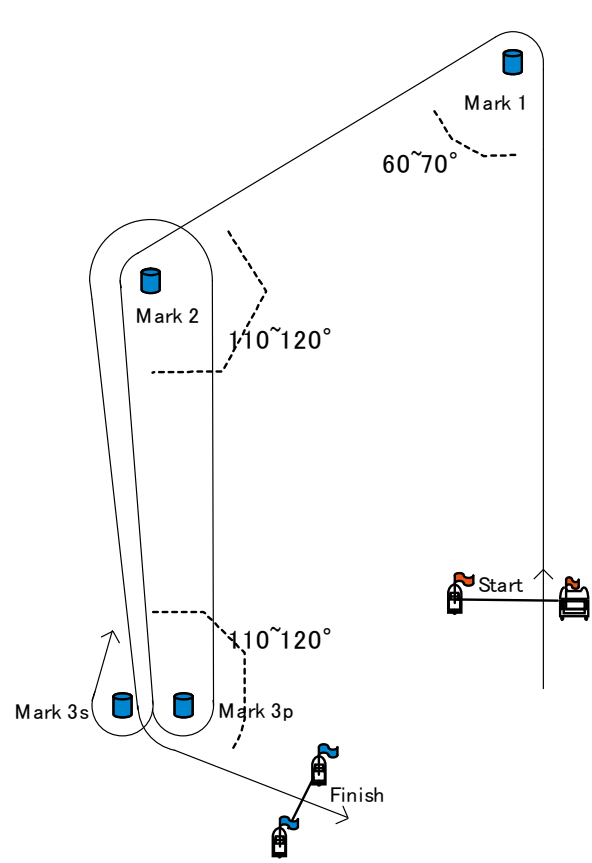
コース “I” トラペゾイド インナーループ

I 2: Start-1-4s/4p-1-2-3p-Finish

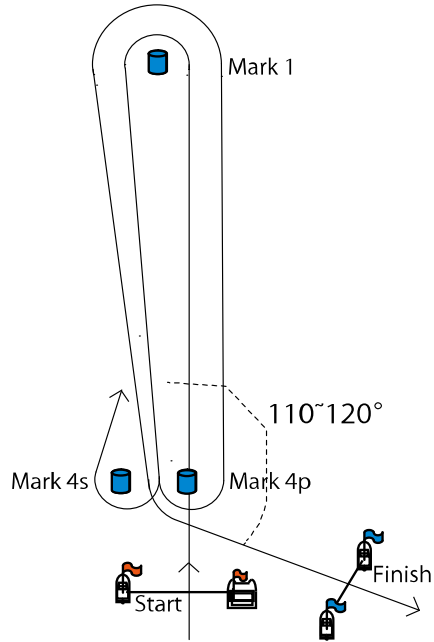


コース “O” トラペゾイド アウタールー

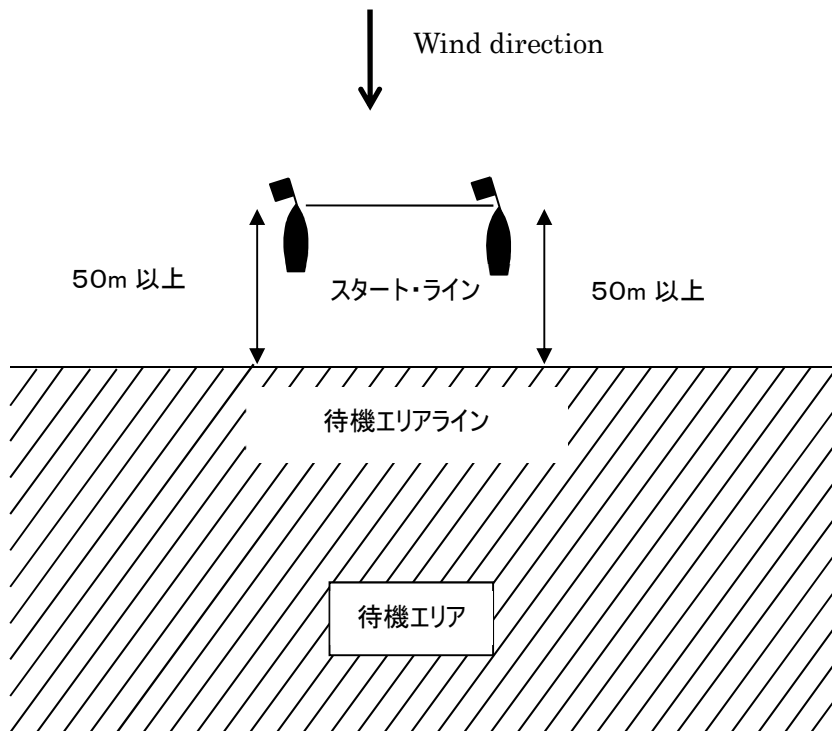
O 2: Start-1-2-3s/3p-2-3p-Finish



コース ” LR ”  
上下・ポート・フィニッシュ  
LR 2: Start-1-4s/4p-1-4p-Finish



添付図 3 待機エリアライン図



【420級】

【レーザーラジアル級】

